

# 01 サンプルを使った2小節のループを作ろう

キックやスネアのサンプルをドラッグアンドドロップしてループを作成します。  
また、FXやベースを加えてサンプルだけで1ループを作ってみましょう。

サンプルのコピー、リバース、フェード、ピッチなどの編集が可能です。  
分割などは、アレンジメントビューで行います。

クリップをクロップ	⌘ J
Split Clip	⌘ E
1.1.1をここに設定	
ループを無効にする	⌘ L
スタートマーカを設定	⌘ F9

12.1でクリップの分割が可能になりましたが、多くの作業はアレンジメントビューで行うほうが高速です。  
フェード、ピッチの変更などは別の章で扱います。

キックを読み込んでみよう

参照動画はこちらへ

キック単音を読み込みます。

## ブラウザの使用方法

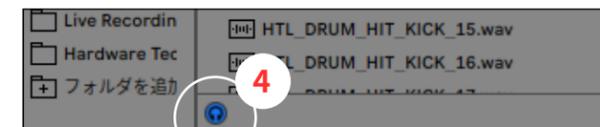
復習 ブラウザを開きます。

Cmd+Option+B

**Tips** 画面関係のショートカットキーはCmd+Option+Bです。ブラウザ(Browser)のBとおぼえましょう。

Cmd+Fで検索

「サンプル」を選択します。  
フィルターで必要楽器、キーなどを絞り込むことも可能です。



プレビュー、サンプルを視聴出来る

似たようなサンプルを探したい場合は類似検索が有効です。

Cmd+Shift+F

サンプルのみならず、デバイスでも利用可能です。

## ブラウザの応用的な使い方

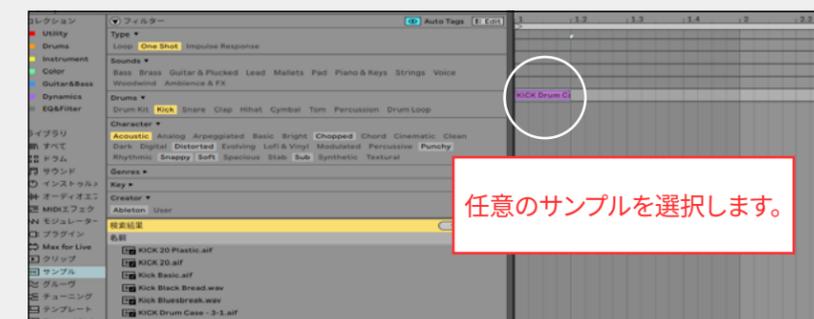
ブログ Ableton12でプラグインを探しやすくする方法

**Tips** 検索した後更にCmd+Fを押すと「すべてを検索」と同様になります。

Escキーを押すと、入力した文字を消せるので高速な検索が可能です。

## アレンジメントビューにキックを配置してみよう

読み込んだキックをアレンジメントに配置します。ブラウザで選択したサンプルをアレンジメントにD&Dします。



参照動画はこちらへ

任意のサンプルを選択します。

## 4つ打ちのキックを入力してみよう

参照動画はこちらへ

アレンジメントビュー上にクリップを貼り付けていきます。

クリップの長さが1拍より長い場合はクリップ末尾を調整して長さを変更します。

1拍の長さにしたら、Cmd+Dで4回複製しましょう。

4回コピーするようになります。



上部に近づけるとブラケットが出るので長さを調整

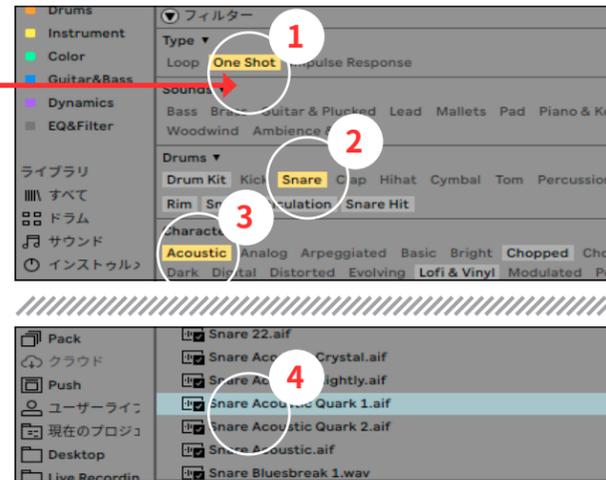
二拍と四拍にスネアを入れてみよう

参照動画はこちらへ

ブラウザでスネアを選択します。

復習

今回は「Snare」を選びます  
2拍4拍に入れてみましょう。  
2拍4拍をバックビートとも言います。



ドラッグして、2拍目のスネアのサンプルを4拍目にコピーします。  
2拍目にサンプルをドラッグします。



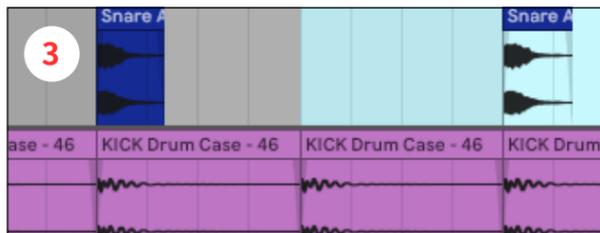
アプローチ Duplicateとコピーの違い



Cmd+Dで複製  
連続して複製されます。



複製すると直後に複製されるので、正しい位置になりません。



Option+ドラッグでサンプルをコピーします。



任意の場所にコピーできます。

**Tips** 変化がないものを連続して複製したい場合は、**Cmd+D**

ベロシティに変化がないハイハットなど変化があるものを複製したい場合は、  
範囲指定して **Cmd+D**  
任意の場所に配置したい場合は **Option+ドラッグ**でコピー  
パターンが出来たら、範囲指定して **Cmd+D**

**Tips** 複製するタイミングも重要です。強弱などで繰り返されるパターンならパターンが出来た時点で複製するほうが、一つ一つコピーするより速いです。

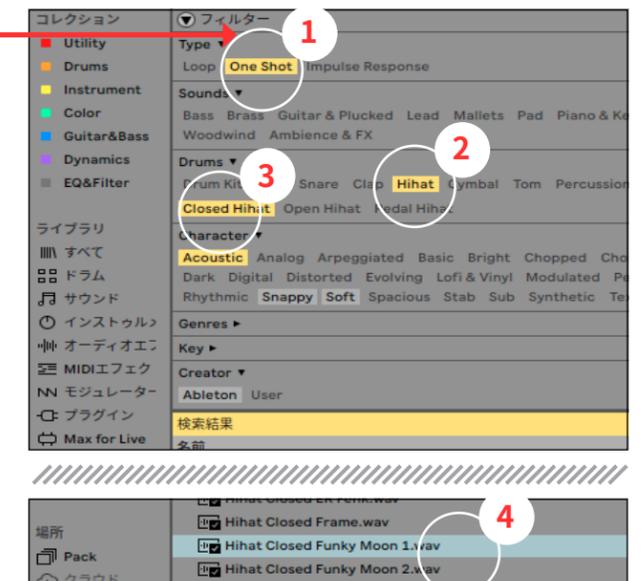
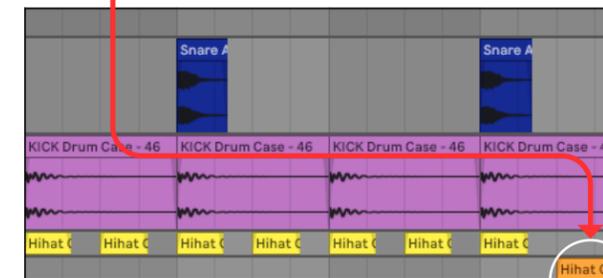
画面の視認性が悪い場合は拡大、縮小を活用しましょう。(動画リンク)

ハイハットを8分音符で入力しよう

参照動画はこちらへ

ブラウザでハイハットを選択します。  
Closed Hi-Hatを選択します。

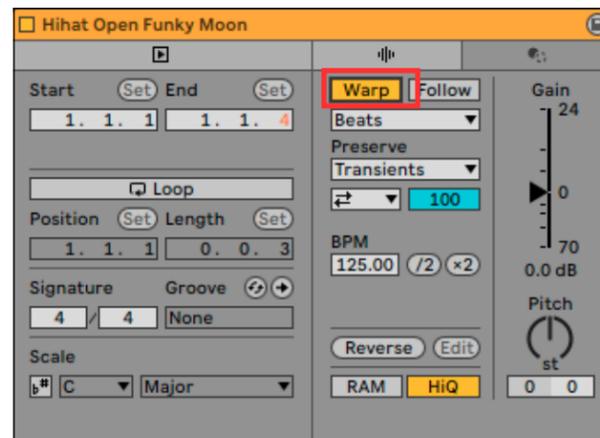
4拍目の最後に、オープンハイハットを入力しましょう。  
ブラウザでハイハットを選択します。  
Open Hi-Hatを選択します。



長さの調整をしよう

このまま長さを短くすると、オープンの音が聞き取れません。





WARPモードをオンにします。  
Shiftキーを押しながらクリップを短縮します。

ブラケットに三角マークが付きます。



オープンの音がそのまま長さが短くなりました。

### WARPとは

WARPとは、オーディオクリップのテンポやタイミングを柔軟に調整する機能です。オーディオクリップを現在のテンポに自動的に合わせたり、特定の部分をタイムストレッチして伸縮させることが可能です。

ピッチをそのままに長さを伸縮できることが大きな特徴。WARPのそれぞれのモードの音質をクリエイティブに使用する人もいます。→細かい説明はサンプリング編へ。

### 作成したループを2小節にしよう

1小節目のコピーをしてから、3、4拍目を消去して入力するのが速いです。



### ループ範囲の設定

ループブレイスで範囲を設定します。  
Cmd+Lでループオンです。

**Tips** LoopのLとおぼえましょう。Abletonはステムの書き出し、パンチイン、パンチアウトとループブレイスの設定は多用します。

[ブログ Abletonループブレイスの便利な使い方](#)

### グリッドの変更

グリッドのオン/オフでノートのタイミングを微調整します。**Cmd+4**  
**Cmd+3**で3連符のグリッドに変更します。  
**Cmd+1**でグリッド解像度を高く、**Cmd+2**で低くできます。



### 他DAWを使っている方への注意

FLユーザーなどにお馴染みの固定グリッドですがAbletonではデフォルトでは設定されていません。Abletonは他のDAWと異なり、ツールバーにグリッドを選択するものが存在しません。そのため、アレンジメント上で右クリックしてメニュー上で変更するか、ショートカットキーを覚える必要があります。

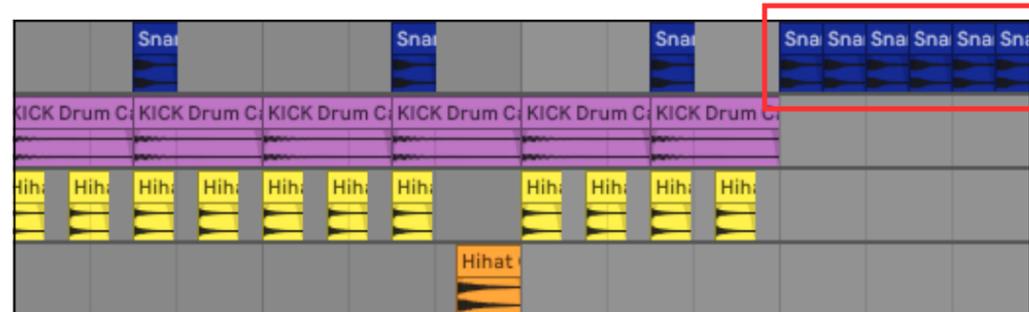
**キーを覚える必要があるということです。**シンプルなUIであるからとつきやすいとかということではありません。そのため、本書ではショートカットキーを多く紹介しています。様々なショートカットキーの覚え方、考え方などは筆者のブログに記事があります。

**ツールバーがないということはショートカット**

[ブログ Abletonの画面関係の操作を覚えて快適に使う](#)

### 2小節の長さにしてフィルを入れよう

参照動画はこちらへ



このような形で2小節の3、4拍目を3連符のタイミングでスネアを配置してみましょう。スネアドラムの長さがグリッドを超える場合は適宜調節しましょう。

復習

## グリッドを3連符にしてスネアをコピー

1拍を3つに分割しましょう。

**復習** **Cmd+3**で3連符になります。

2拍を3つに割ったものを二拍三連、四拍を3つに割ったものを四拍三連と言います。

**Tips** MIDIの場合は12の新機能で簡単に連符を作れるようになりましたが、オーディオデータの場合はグリッド変更する必要があります。

## 抑揚をつけよう

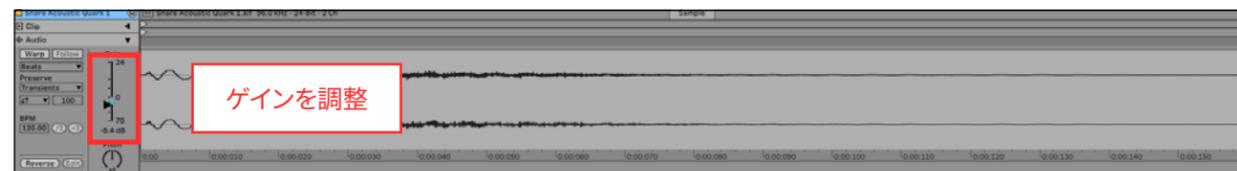
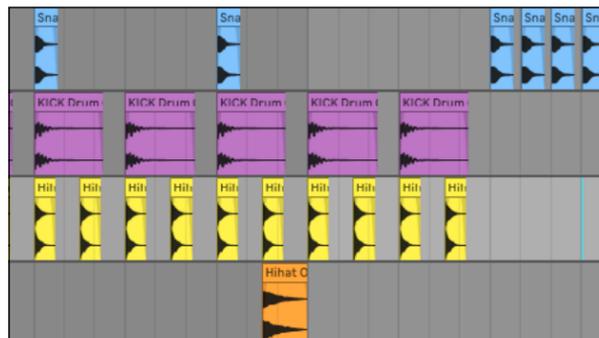
ハイハットやスネアの音量を変化させてみましょう。

## ゲイン(音量)の調整

サンプルの音量を上下させます。

クリップビューでゲインを調整します。

スネア、ハイハットなどそれぞれの変化させたいクリップで変化させます。



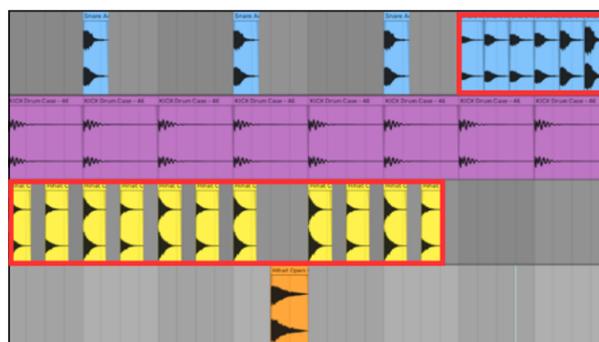
スネアがクレッシェンド

ハイハットに強弱がついています。

表(ダウンビート)が強調されています。

裏とは:

表拍の間に挟まる拍(弱拍、アップビート)で1拍を半分分割する場合、その半分の位置が「裏拍」となります。



**Tips** Abletonの場合、初期値に戻す場合はパラメーターが変更されている状態で**ダブルクリック**か**Del**キーです。 **復習**

## 他DAWを使っている方への注意

Abletonはクリップのゲインをアレンジメントビュー上でコントロールする方法がありません。そのためクリップビューでゲインをコントロールする必要があります。

Abletonの最上位バージョンであるSuiteは

Max For Liveが使用できます。

素早い編集をしたい場合はこちらのM4Lが便利です。

**ブログ** [アレンジメントビューで編集する人にClip Gainは非常に快適](#)

## 再生方法

参照動画はこちらへ

## 代表的な再生方法

<b>Spaceキー</b>	再生と停止 停止したら挿入マーカーの位置に戻る。冒頭から再生した場合には冒頭に戻ります。
<b>Shift+Space</b>	停止したところから再生します。
<b>Option+Space</b>	選択した範囲を再生、選択範囲が終わったら止まる。Option+Spaceはプリセット変えたり、そのクリップだけ集中的に修正したりするときに使います。
<b>スピーカーマークで再生</b>	クリップビューと、ループプレイス下部で使用できます。

詳細はこちらの記事をご覧ください。

**ブログ** [Abletonの再生方法とマーカー](#)

**Tips** Homeキーは冒頭に戻ります。

## 他DAWを使っている方への注意

Abletonはプリロールという概念がありません。プリロールありの録音をしたい場合は、挿入マーカーを移動して、パンチイン、パンチアウトの設定をする必要があります。スクラブ再生などありません。

マーカーなどのショートカットキーもありませんので、キーマップという機能を使って、設定する必要があります。

**ブログ** [Abletonのキーマップを覚えている遊ぼう](#)

ベースのサンプルを読み込んでみよう

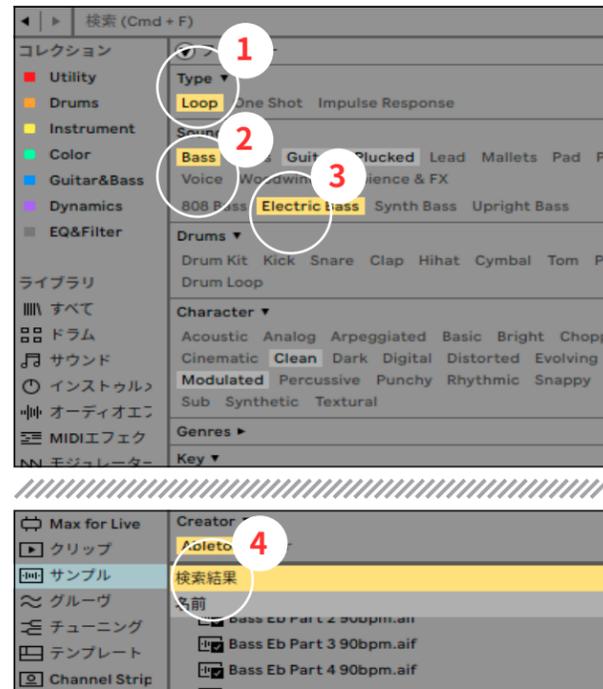
参照動画はこちらへ

ベースラインを探しましょう。

**Tips** One shotとLoopの違い

**One shot:**通常1回のみ再生されることを想定したサンプルです。効果音やドラムなどで使われることが多いです。

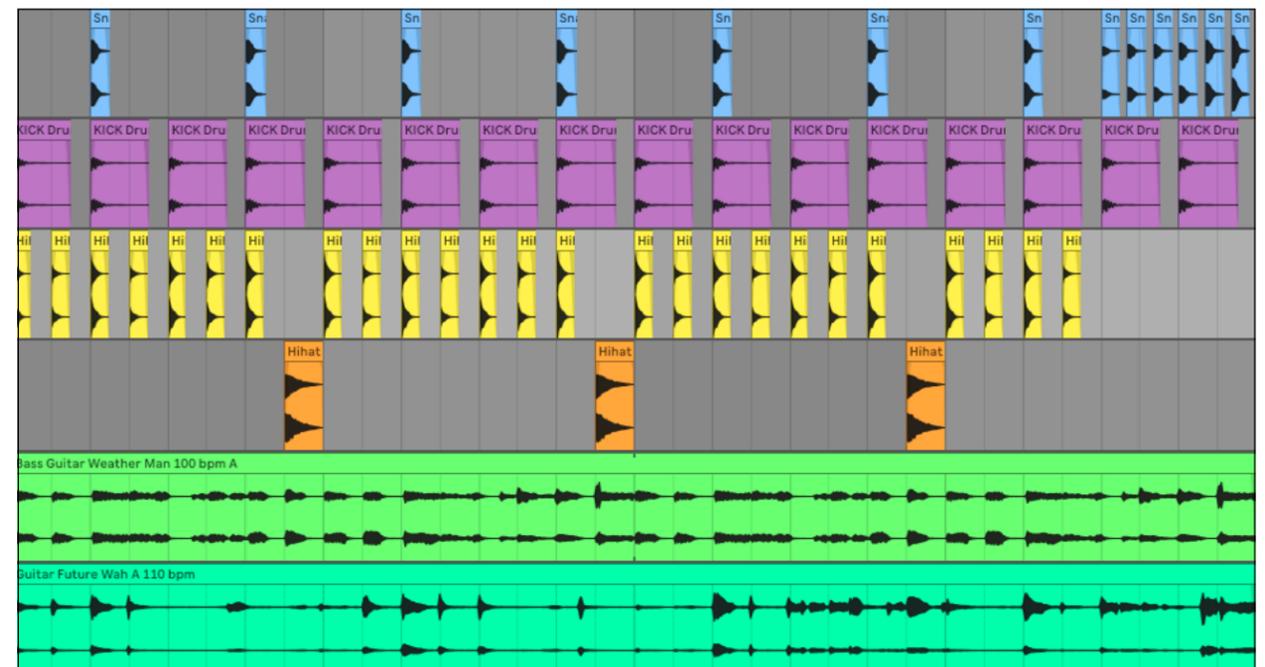
**Loop:**繰り返し再生されることを想定したサンプルです。ドラムパターン、コード進行などリズムの基礎や楽曲の基礎として使われることも多いです。



4小節のループにしてみよう

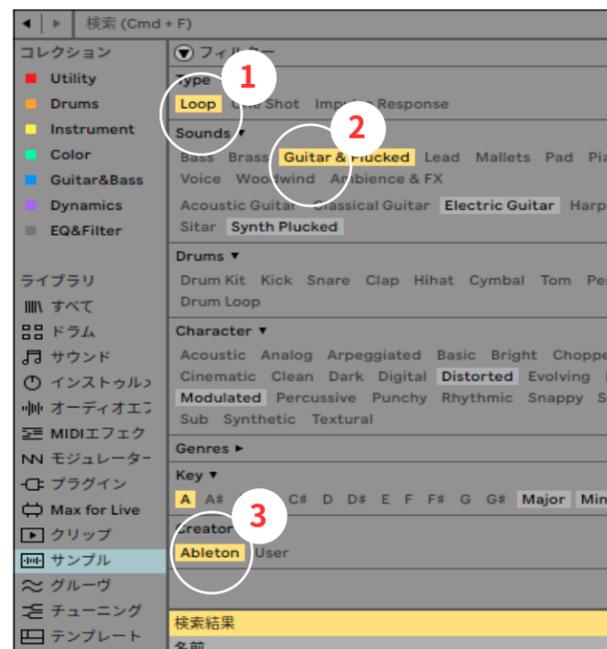
参照動画はこちらへ

ベースは2小節のループでしたが、ギターは4小節のフレーズとなっています。



ギターのサンプルを読み込んでみよう

参照動画はこちらへ



**Tips** キーは、特定の「音階」(スケール)に基づいて構成されるもので、そのスケール内の音や和音が楽曲で使用されます。

というのが教科書的な説明ですが、実際にはメジャー・キーでもマイナー・スケール系統のフレーズがされることは多くあります。実験してみましょう。

**ブログ** [押して覚えるコードとスケール ブルーススケール](#)

先程の2小節目を4小節目に移動して、1~3小節目を複製しましょう



**Tips** Cmd+C(コピー) Cmd+X(切り取り), Cmd+V(貼り付け)などのショートカットキーはPCと同じ操作です。貼り付ける時に、コピーを始めたトラックに貼り付ける事に注意しましょう。

ギターのフレーズを探しましょう。

1小節のドラムを複製しましょう。

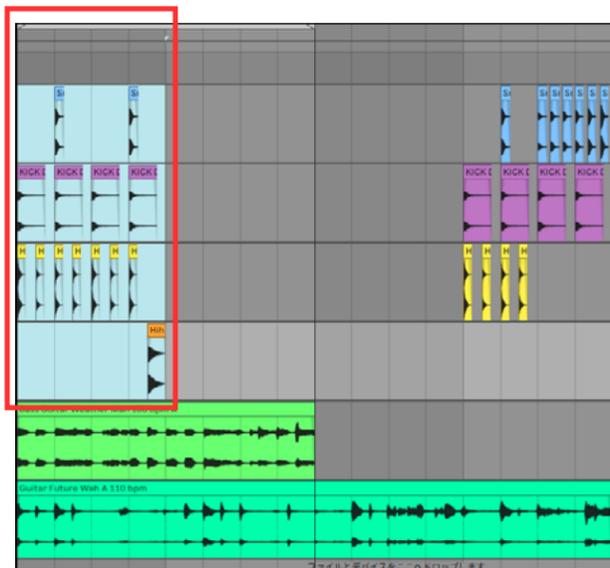
**Tips** 構成を作るための便利な機能が Abletonには備わっています。

**ブログ** Abletonで構成を作るのに便利な機能

今回の操作も**Cmd+I**(無音時間を挿入)してから1小節目をコピーする方法もあります。

**I**は**インサートのI**と覚えましょう。

時間関係のショートカットキーは基本的には**Cmd+Shift**と覚えましょう。



**FX(効果音) などを入れよう**

参照動画はこちらへ

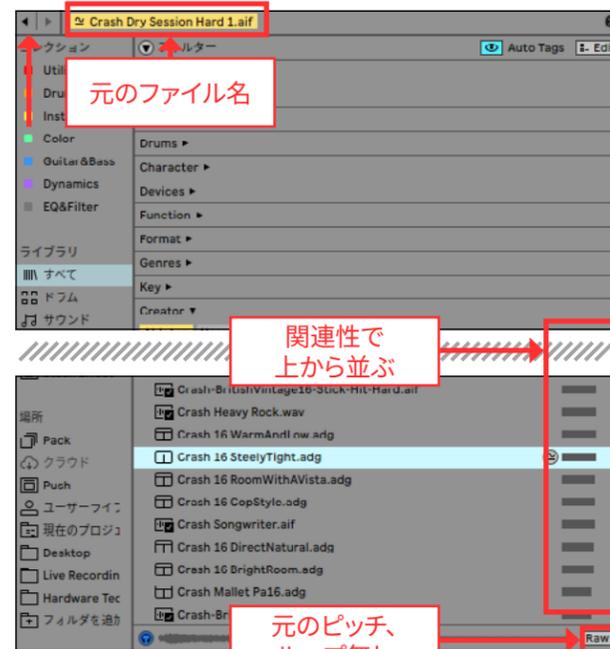
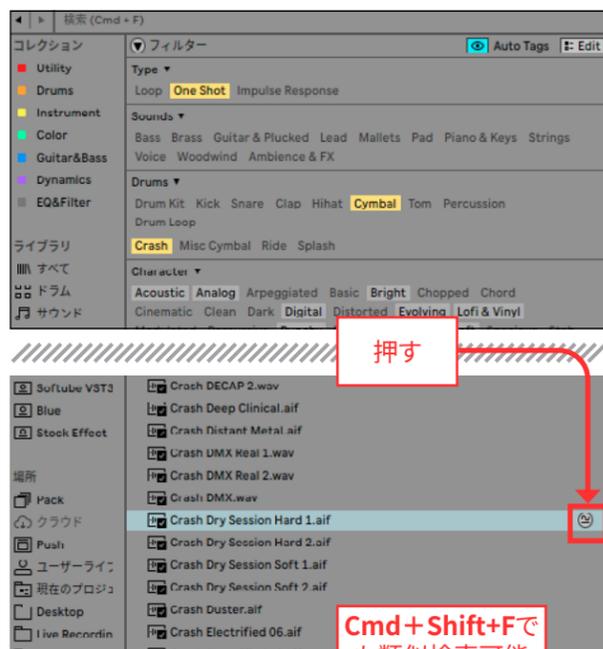
### シンバルをリバースシンバルにしてみよう

4小節のループが出来ましたが、もう少しバリエーションを付けてみましょう。

小節の頭にクラッシュ、最後にリバースシンバルを入れてみます。

クラッシュを探します。

似たようなものだけれど、もう少し違うサンプルを探したい場合は類似検索を使いましょう。



押す

元のファイル名

関連性で上から並ぶ

元のピッチ、ループ無し

Cmd+Shift+Fでも類似検索可能

### Tips ショートカットキーの考え方

**Cmd**はCommand(命令する)です

**Shift**は関連する他の機能にシフトすると覚えやすいです。

**Cmd+F(Find)**: 見つけるの基本機能ショートカットキーです。

**Cmd+shift+F**: 見つけるの基本機能にshiftを加えて類似検索です。

時間関係のショートカットキーの多くが**Cmd+Shift**にアサインされていることが理解できると思います。

このままではシンバルが間延びして長いので、**WARP**を使って長さを調整します。1拍で切れるように調整しましょう。

**WARP**を**on**にします。**Shift**キーを押しながら1拍の長さに調整します。

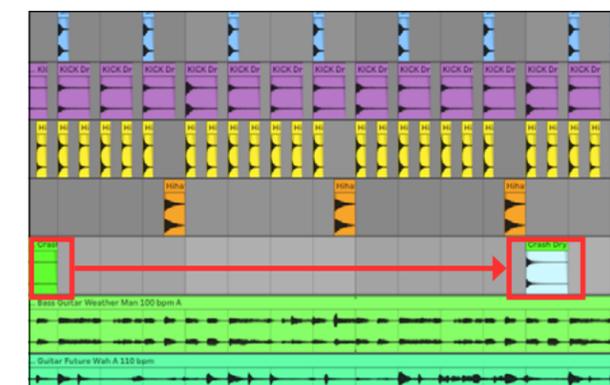


### リバースシンバルを4小節目に配置してみよう

1小節目1拍目のデータを、4小節目1拍にコピーしましょう。

コピー **Option+ドラッグ**

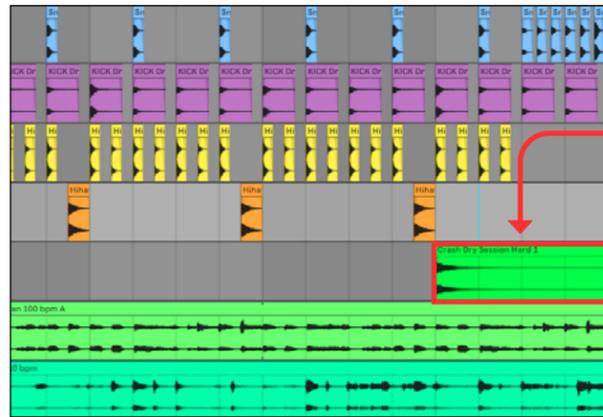
このままでは長さが足りないなので、小節の終わりまで伸ばしましょう。



### Tips Cmd+C(コピー)、Cmd+Vよりも

**Option+ドラッグ**が速いです。

一画面内で移動できる場合は**Option+ドラッグ**を活用しましょう。

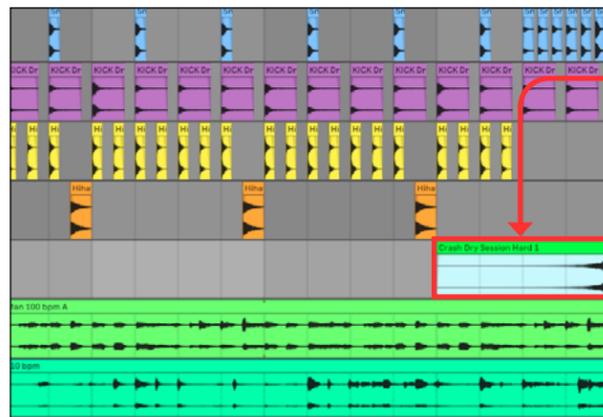


WARPを使って、シンバルの長さを伸ばします。

復習

Shiftキーを押しながらドラッグ

**Tips** 普通にドラッグすると、1拍のサンプルが繰り返されることになってしまいます。1拍のサンプルそのものの長さを変更したいのでWARPを使う必要があります。

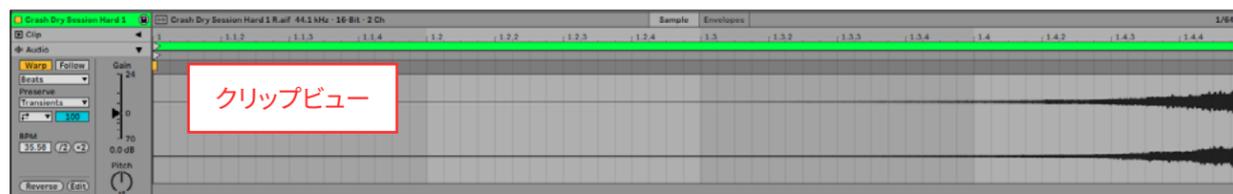


リバースしましょう。

アレンジメントでクリップを選択して、Rです。RはReverseと覚えましょう。

クリップビューでも可能です。

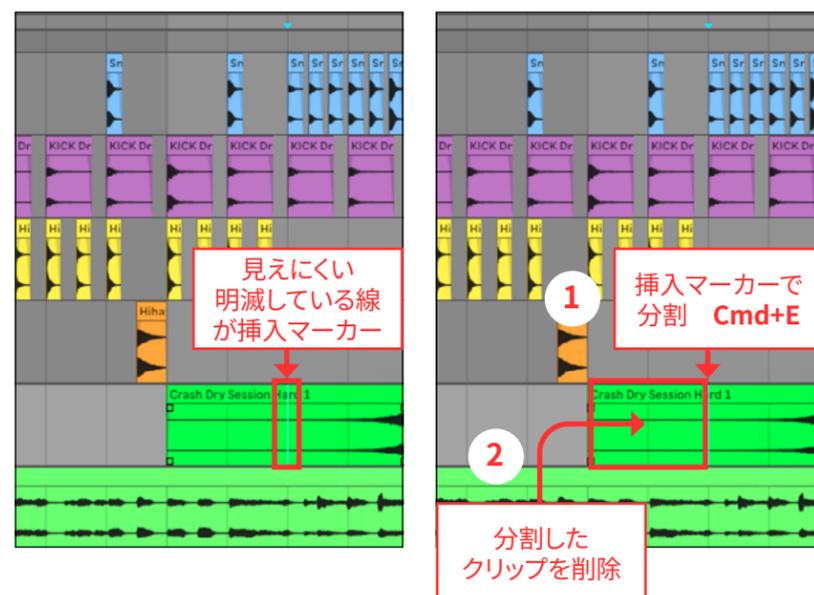
リバースしたものの、音量がクレッシェンドするタイミングが遅いです。4小節目の頭からクレッシェンドするように調整しましょう。



音量が上がる部分から長くしたのでクリップを分割します。分割はCmd+Eです。

挿入マーカー (水色の線) で分割されます。挿入マーカーは明滅しています。

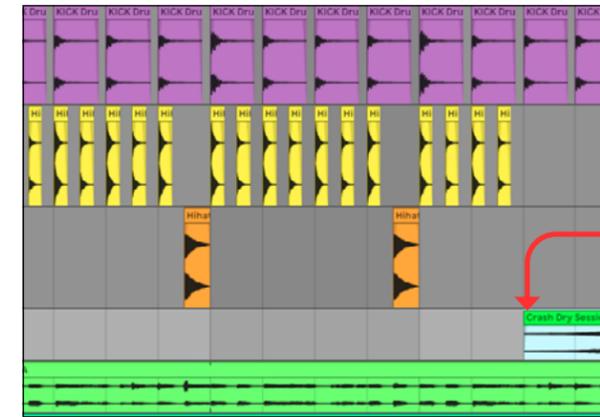
クリップを分割し、不要なものを削除します。



見えにくい明滅している線が挿入マーカー

1 挿入マーカーで分割 Cmd+E

2 分割したクリップを削除

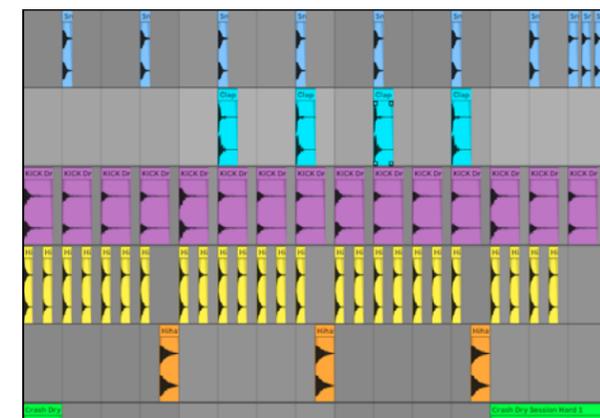


WARPで長さを調整します。

復習

1小節掛けて、音量変化が聞き取れるようになりました。

Shiftキーを押しながらクリップ上部をドラッグ



クラップを重ねてみよう

最後にクラップを重ねてみます。タイミングをスネアと微妙にずらしてみよう。

ナッジとは

nudgeは「軽く、少し動かす」の意です。

Cmd+4でグリッドを無視できます。(復習)



ズれている

クリップを選択して Cmd+左右でナッジは可能

**Tips** Cmdを押しながらカーソル左右でクリップをナッジ出来ます。Cmdを押しながらドラッグでもナッジは可能です。Cmdはグリッド無効と理解しましょう。MIDIでも同様です。ループさせながらタイミングを調整しましょう。

## おばあちゃんから。あなたへ



あらあら、本当におつかれさま。頑張ったわねえ…

基本的な波形編集、コピー、分割、効率の良いコピーや複製の方法、クリップのゲインの調整なんかを学んだわね。WARPのやり方とかも。

動画ではリネーム、ループブレイス、クリップでのピッチの変化の活用、0キーを使った構成の作り方もやったわね。もう、盛りだくさんよねえ。

この書籍、動画はね、すべての知識をまとめて扱うものではないの。実際の制作を通じて、そのたびにに必要な知識を覚えればいいのよ。慌てずにね…

高機能化したDAWの全ての操作を覚えることはできないし、意味もないわ。自分にとって必要な知識だけ覚えればいいのよ。

だから、この書籍では、情報の量をかなりおさえているの。動画で書籍の内容を超えた知識を扱って

いるのはね、実際の作業の中で必要な知識を覚えてもらいたいから。そのほうが記憶に残るからよ…

章末ではコラムや、この章に関連する知識についてブログへのリンクを貼っておくからね、知りたいと思ったら見てごらん。余裕があるときでいいのよ。

慌てずにね。使える時間が少ない中で、何かをマスターしようとするのは大変なことだもの…

無理のないペースでね。週末の2日でマスター出来るようにって考えてるけど、翌週に復習してもいいの。やめてもね、何回でもやればいだけなんだから。

2章ではMIDIでドラムの打ち込みを扱うわよ。ドラムが打ち込み出来たら、楽しくなるわよね。ドラムとそれ以外では考え方も違うの。まず、ドラムの入力方法を学んでいきましょうね。

楽しんでちょうだいね!おばあちゃんとの約束よ…



## 関連知識

## LIVE11のテンプレートの保存は便利

動画の冒頭で扱ったわね。作業の目的に合ったテンプレートを作ってあると、短時間で制作に入れるの。ワークフローが決まってきたら、テンプレートを作成すると楽ちんよ。

## AbletonLIVEのデフォルトトラックとして保存は便利

どのトラックにも立ち上げるプラグインなんかが決まってきたら、デフォルトトラックとして保存するといいわね。EQ8とUtilityの2つを立ち上げる設定にしている人って、多いんじゃないかしら。

## Abletonの0キーはマルチに使えて便利

動画では0キーをフル活用していたわよね。MIDIの編集、オーディオの編集、ミュートとたくさんの機能があるのよ。動画を観てもらったら、他のトラックとコール&レスポンス的なフレーズを作ったりすることも出来るのがわかると思うわ。

## トラックをハイライトしてCmd矢印で移動は便利

トラックはドラッグして移動も出来るけれど、トラック数が増えると移動の間違いや他のグループトラックにドラッグしたり、なんて事故が起こりやすくなるのよ。

## Abletonの保存方法で覚えておきたいこと

最初に覚えておくと、後で面倒くさくないわよ…新しく曲を作ったときは「別名で保存」するところを覚えておけばいいわ。そのまま保存すると「名称未設定」を上書きしちゃうから、注意してね。

## MX Ergoに登録してあるAbletonのショートカットキー

マウスでも他でもデバイスは何でもいいけれど、よく使うショートカットキーは登録しておくとはかどるわ。おばあちゃん、手がしんどいから重宝してるのよ…

## Abletonで画面を見やすくする方法2つ

歳を取ると、Abletonのミニマルデザインは目に厳しくて、絶望することあるわよね…。でも、対応方法はちゃんとあるの。これで安心ね…



詳細は著者ブログにてご案内: [murinaikurashi.com](http://murinaikurashi.com)

## 章末課題



実際にご自身の手で、今回の楽器編成と同じで音色を変更して作ってみましょう。リズムを変えて遊ぶのもいいでしょう。答えはありません。楽しんで。



ゼロから作るのが難しいようであれば、書籍と同じ譜割りで、音色を変えてみてください。音色を選ぶのもまた個性です。



音量などを変化させてください。



動画をご覧になったかたは、本章で学んだ技法を使ってみてください。



本章で扱ったショートカットキーを1つだけで良いので覚えましょう。

Ableton12で  
1ループを作って遊ぼう

EASY

第一章向け  
ユーザーサポート動画

オーディオで  
ドラムのループを  
作成してみよう

[第一章のサポート動画解説はこちら](#)どうぞ。

## 第二章



# MIDIでドラムのループを 作成してみよう

本章を終えると  
出来るようになること

- Drumrack, Drumsamplerを使ったMIDI入力  
でドラムのループを作ることが可能になります。
- MIDIトラックの作り方が理解できます。
- MIDIの入力方法が理解できます。
- オーディオエフェクトの立ち上げ方が理解できます。